

業務プロセス研修のご案内

ワクコンサルティング株式会社

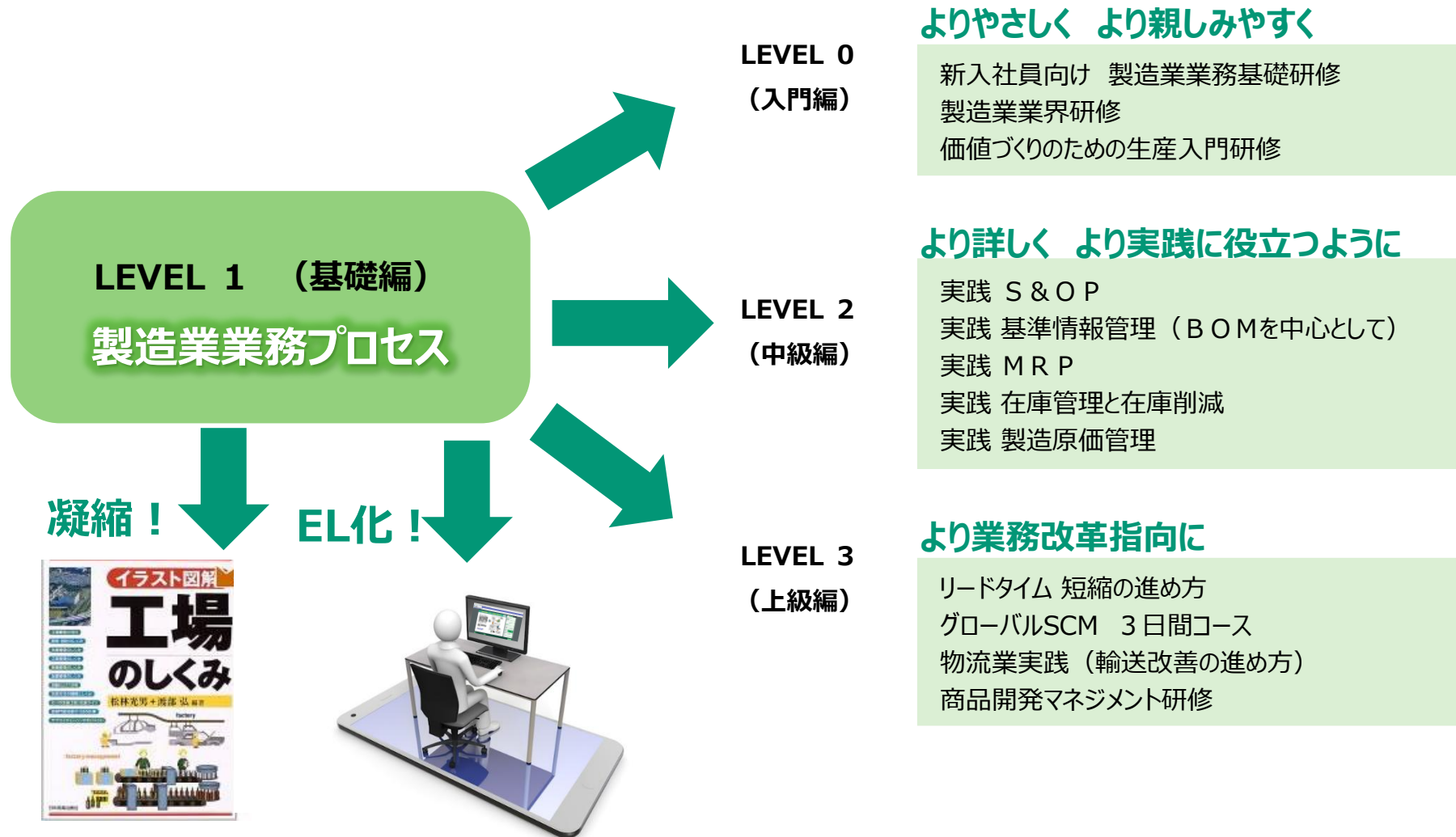
業務プロセス研修の基本メニューと受講対象者（製造業研修）

研修の基本形をもとに、お客様のニーズと受講対象者に応じて、構成を調整し、ご提供させていただきます

研修レベル	No	研修コース名称	日数	オンライン 研修対応	製造業	IT企業			実務年数別		
					ユーザー部門 IT部門	S E 系	ソリューション 営業系	コンサルタン ト系	新入社員	2～5年	中堅
入門編 レベル0	B001-1	新入社員向け 製造業業務基礎研修	1	●	●	●	●	●	●		
	B001-2	製造業業界研修	1	●	●	●	●		●	●	●
	B002-1	価値づくりのための生産入門研修 - Q・C・D 編 -	2	●	●				●		
	B002-2	価値づくりのための生産入門研修 - IE・QC・VE 編 -	2	●	●				●		
	B050-1	製造業業務基礎研修(ICTソリューション企業新入社員向け)	2	●		●	●	●	●		
	B050-2	製造業業務基礎研修（製造業新入社員向け）	2	●	●				●		
	B060	品質管理研修 入門編	1		●				●		
基礎編 レベル1	B101	製造業業務プロセス研修（SCM研修）	2～4	●	●	●	●	●		●	
	B102-1	製造業業務プロセス研修（ECM研修 設計開発編）	2	●	●	●	●	●	● R&D部門	●	
	B102-2	製造業業務プロセス研修（ECM研修 生産部門編）	2		●				● 生産部門	●	
	B103	製造業の業務と基幹システム研修	2～4	●	●	●	●	●		●	
	B104	会計入門研修	1	●	●	●	●	●	●	●	
	B105	物流業務研修	2	●	●	●	●	●		●	
	B106	マネジメント向け いまさら聞けない生産管理の基礎研修	1	●	●	●	●	●			●
	B107	中小製造業業務研修	1	●	●	●	●	●		●	●
	B108	品質管理研修 基礎編（化学メーカー向け）	1		●					●	
中級編 レベル2	B201	実践 S&OP	1	●	●	●		●		●	●
	B202	実践 基準情報管理（BOMを中心として）	1	●	●	●		●		●	●
	B203	実践 MRP	1	●	●	●		●		●	●
	B204	実践 在庫管理と在庫削減	1	●	●	●		●		●	●
	B205	実践 製造原価管理	1	●	●	●		●		●	●
	B206	実践 生販在計画（PSI)の進め方	1	●	●	●	●	●		●	●
	B207	自動車部品SCM	1.5～2	●	●	●	●	●		●	●
	B208	自動車業界に特化した調達購買業務に関する研修	1	●	●	●	●	●		●	●
	B209	海外との調達業務に関する研修	1	●	●	●	●	●		●	●
	B301	リードタイム短縮の進め方	1	●	●	●	●	●			●
上級編 レベル3	B302	グローバルSCM 3日間コース	1～3	●	●	●	●	●			●
	B303	物流業実践 構内物流改善の進め方	1	●	●	●	●	●			●
	B304	物流業実践 輸送改善の進め方	1	●	●	●	●	●			●
	B305	商品企画プロセス研修	1	●	●					●	●
	B306	商品開発マネジメント研修	1	●	●					●	●

製造業業務プロセス研修のメニュー拡大背景

製造業業務プロセス研修からスタート。お客様からのご要望から研修メニューを拡大し、新人向けからベテラン層までの実践的な研修を提供しています。



研修名称	概 要	期 間
製造業 業務基礎研修 (新入社員向け)	新入社員向けに開発された研修で、やさしく「製造業のしくみ」を理解することで下記①②を目的としています。 ①お客様が業界用語を交えて説明される話を理解する。 ②お客様の要求を的確に把握でき、自社のソリューションを提案できる礎を築く	1 日
製造業 業界研修	これから製造業をご担当される方を対象とした研修です。「製造業のしくみ」からお客様の課題までをダイジェストで理解することで下記①～③を目的としています。 ①お客様が業界用語を交えて説明される話が理解でき、円滑なコミュニケーションがはかれる ②お客様の要求を的確に把握でき、自社のソリューションを提案できる礎を築く ③お客様の課題や問題を共有化できる	1 日
価値づくりのための生産入門 － Q・C・D 編 －	製造業の価値づくりに貢献できる人財の育成を狙いとして、製造業や工場の知識・経験が乏しい新入社員や中途採用者の方々を対象に、生産部門の果たす役割や生産のしくみについて、基本知識を習得いただきます。	2 日
価値づくりのための生産入門 － IE・QC・VE 編 －	製造業の価値づくりに貢献できる人財の育成を狙いとして、製造業や工場の知識・経験が乏しい新入社員や中途採用者の方々を対象に、ものづくりで大きな価値を生み出してきた管理技術 I E・Q C・V E の基礎を、学ぶことができる入門講座です。	2 日
製造業 業務基礎研修 (ICTソリューション企業 新入社員向け)	製造業向けソリューションを展開しているICT企業の新入社員を対象とした研修で、製造業の各業務をやさしく学び網羅性を持たせることにより、下記①～③を目的としています。 ①お客様が業界用語を交えて説明される話が理解でき、コミュニケーションがはかれる ②お客様の要求を的確に把握できるようになる ③従って業務要件の確定が早く正確になり、ERP、CRM、SCM構築・導入の上流工程の手戻りをなくす	2 日
製造業 業務基礎研修 (製造業の新入社員向け)	新入社員を対象とした研修です。製造業の業務全般を網羅的にやさしく学びます。この研修を行うことで、自社業務全体の理解を早め、担当する業務の位置づけを知ること、広い見地に立った思考を創出し、担当する業務を的確に行えるようになります。また、将来の幹部となるための業務知識基盤を作れます。	2 日
品質管理研修【入門編】	新入社員を対象とした研修です。「品質とは何か」から始まって、まずは品質の概念を学んで頂きます。 ・製造業が顧客に提供する価値であるQCD について考えてもらい、その意味と重要性を理解して頂きます。 ・仕事/品質に対する意識を高めてもらうための内容を組み込みました。 ・メーカーで働く人必須の品質基礎知識を学んで頂きます。加えて、4 M 管理とは何を学習して頂きます。	1 日

研修概要 製造業系 ②

研修名称	概 要	期間
製造業業務プロセス研修 (SCM)	製造業のサプライチェーン（計画、調達、生産、販売、物流）と開発設計、BOMなどの基準情報、品質管理に関する業務の基礎を学ぶことにより、下記①～③を目的としています。 ①お客様が業界用語を交えて説明される話が理解でき、円滑なコミュニケーションがはかれる ②お客様の要求を的確に把握できるようになる ③従って業務要件の確定が早く正確になり、ERP/PDM導入やSCM/PLM構築の上流工程の手戻りをなくす	2日
製造業業務プロセス研修 (ECM研修 設計開発編)	ものづくり企業のR&D部門の組織や役割、他部署との関係および具体的な開発業務で行っている内容を演習を交えて体験します。また、それらを基に設計情報を体系的に学び、最後にECMの事例を紹介します。	2日
製造業業務プロセス研修 (ECM研修 生産部門編)	SCMとECMのカナメとなる生産部門の役割と生産のしくみについて学びます。また原価低減の必要性や品質意識の向上、不良低減の方法、安全・環境管理等についても学び、生産革新を目指す、未来を担う人材を育成いたします。	2日
製造業の業務と基幹システム研修	製造業を支援するシステムは業務と密接に関係しながら全体がつながりその情報の連携は複雑、且つ多岐に渡るため、部分的な学習の積み重ねではなかなか難しいことです。そこで当研修は製造業システムの全体像を俯瞰した機能の理解をし、さらに各システムの機能と業務の関連を理解し、留意点や事例等を通して学ぶことで、初めて製造業のアプリケーションシステム全体像の理解が可能になり、効率的で手戻りのないシステム開発を実現すること、システム開発を行うS E力の向上を目指します。	2日
会計入門研修	ICTソリューション企業、もしくは、コンサルティングファームの新入社員を対象としています。企業の基本でもある会計知識を習得することで、お客様と会計業務やシステムについて基本的な会話ができることを目的とします。「会計とは」を理解し、実務的な仕訳から財務諸表の作成までの流れ、管理面からの把握分析と会計にかかわる一連の基礎に関する研修を実施いたします。	2日
物流業務研修	物流業務(物流業の機能、販売物流、物流IT、ロジスティクス・オペレーション、物流コスト、国際物流など)を基礎から体系的に、事例及びケーススタディを交えて学ぶ研修です。物流業務及び国際物流、業界の基礎知識を学ぶことにより下記①～③を目的としています。 ①お客様が業界用語を交えて説明される話が理解でき、円滑なコミュニケーションがはかれる ②お客様の要求を的確に把握できるようになる ③従って業務要件の確定が早く正確になり、上流工程の手戻りをなくす	2日
マネジメント向け いまさら聞けない 生産管理の基礎研修	業務経験の豊富な人ほど現場での経験や知識は豊富ですが体系だった学習を受ける機会が少なく、若手社員と一緒に研修を受けるのも気が引けるが今の知識の見直しをしたい、生産管理の全体像を体系的に聞いてみたいという管理者向けの研修です。	1日

研修名称	概 要	期間
中小製造業業務研修	ICT業界において、中小製造業をターゲットにした営業、SEの方々、サービス企画の方々が、顧客の業務課題、ニーズや要望の把握等の役割を遂行する上で欠かせない基盤となる業務知識習得を図れます。多くの中小製造業が、個別受注生産、個別受注設計生産であることから、当方式に関連する部分を重点的に学習できる構成となっています。	半日 ～ 1日
品質管理研修【基礎編】 化学メーカー向け	以下の5項目を学ぶことにより品質管理の知識を身に付け、品質意識を高めることを狙いとした研修です。 ①品質意識を高める ②化学プラントの管理 ③化学プラントの事故事例とその要因 ④化学プラントにおける4M 変更管理の重要性 ⑤日本国内大手企業で起きている検査データ偽装/改ざんを考える ※本研修における、その他の業種別研修につきましては別途ご相談ください。	1日
実践 S&OP	国内におけるSCM導入の動きから10年以上が経過した今、企業各社が抱える新たな課題を示しながら、経営側からの事業計画と業務側からの実行計画を連動させるS&OPの概要について学びます。 ①企業の抱える新たな課題が理解できます②S&OPとは何か、従来の方法との違いを理解できます③S&OPによる効果を理解できます。	1日
実践 基準情報管理	BOMの基本に加え、「製造業情報システムにおけるBOM」や「産業別BOMの特徴と今後の展開」などBOMを様々な視点から深掘します。	1日
実践 MRP	MRPは、企業の基幹システムであるにもかかわらず、理論のみに流れ、実践的な運用を学ぶ場は限られています。 当研修はそのニーズに応えるもので、MRPの理論のみならず、その運用についての課題やポイント、MRPと製番方式、カンバン方式などとの違いや併用等について習得します。	1日
実践 在庫管理と在庫削減	企業のキャッシュフローを大きく左右する在庫管理の仕組みや在庫削減の進め方を、ケーススタディを通して体験的に学ぶとともに、在庫削減の課題やポイントについても習得します。	1日
実践 製造原価管理	原価は経営管理の基盤であり、その元となる情報の多くは、日常の全業務活動、そしてITシステムから収集され、どのような領域の業務改善やITシステム構築においても、原価との関わりを知ることは大切な要素となります。 しかしながら、「原価はとっつきづらい」との先入観から、知識習得は敬遠されがち。 当研修はそのニーズに応え研修で、製造原価管理の視点と、ポイントとなる知識を習得します。原価管理構築、ITシステム構築にかかわる方々の入門として、また、他の業務改善・IT化を進める際、最低知っておきたい原価知識習得に焦点をおいた研修です。	1日

研修名称	概 要	期間
実践 生販在計画の進め方	生販在計画はSCMの出発点であり、生販在計画の良し悪しが企業の収益性を大きく左右します。それがグローバルな生販在計画となると、その影響は世界中の拠点にまで及ぶことになり、精度の低さは失注（売上減）、欠品、納期遵守率低下、顧客満足度低下、在庫増、無駄の増加、生産性低下、コストアップ等、様々な問題を引き起こします。当研修では、生販在計画の重要性とその仕組みを学びます。	1 日
実践 リードタイム短縮の進め方	製造業は、需要の変動に機敏に対応できる態勢を整える必要に迫られています。それにより、変動の激しい顧客の要求に対応してビジネスを確保すると共に、需要に合わないモノを作るムダを省いて利益率を向上させることが出来ます。その態勢を築くキーはリードタイムの短縮です。この研修では、リードタイムの構成要素を理解し、どうしたらそれが短縮できるかを学びます。	1 日
自動車部品SCM	本研修では、非自動車業界で生産管理・SCMを経験してきたSE・コンサルタント向けに、自動車・自動車部品業界特有のSCM業務構造を理解するための視点とスキルを提供します。 自動車業界では、在庫管理や納期回答、負荷スケジューリング、ロット・リードタイム設計、MTS/ATO/MTOといった一般的なSCMの常識が通用しないケースが多く、従来型のMRPベースERPとは根本的に異なる仕組みが求められます。本研修では実務でクライアントと対話する際、「このような内示が来た場合にどう対応するか」といった具体的な例示を提示できる力を養成します。	1.5 ～2 日
自動車業界に特化した調達購買業務に関する研修	自動車業界は、電動化を契機に「擦合わせから組合わせへ」「垂直統合から水平分業へ」「ハードウェアからソフトウェアへ」という構造変化と競争激化の渦中にあります。その中で、調達購買部門はオペレーション業務の効率化とコストリダクション業務の深化を進めなければなりません。その為には、自社情報部門やICT企業と連携し、IT化を進めることが必須です。本研修は購買システムの構築に関わる方々に必要、かつ、自動車メーカーに特化した調達購買業務の内容になっています。	1 日
海外との調達業務に関する研修	コロナやウクライナ戦争を背景に、世界の分断が進み、インフレや円安の影響を受ける中で、グローバル調達の重要性が高まっています。本研修では、海外調達の目的や必要性を理解し、リスク管理や最適な調達戦略の構築方法を学びます。具体的には、海外調達のメリットとリスクを明確にし、サプライヤー選定や契約、実務プロセスに至るまでの実践的なアプローチを解説します。また、過去の事例（ゴーン日産時代）を交えて、グローバルソーシングと海外調達の違いも明らかにします。	1 日
グローバルSCM研修 3 日	企業間や組織間を国際的に横に結ぶグローバルサプライチェーンと、企業内または企業間を縦に結ぶエンジニアリングチェーンの両方の視点から、それらを支える計画と管理業務とその業務改善・改革の基本を学習します。 SCMの出発点でもある生販在計画の重要性とその仕組みと改革ポイント、及び昨今急激に注目を集めているグローバルSCMのためのS&OP、更に企業のキャッシュフローを大きく左右する在庫管理の仕組みや在庫削減の進め方、そしてサプライチェーンとエンジニアリングチェーンに深く関わるリードタイムの短縮をテーマとして、その構成要素と短縮するための基本的な改革方法をグローバルな視点を交えて学びます。	3 日

研修名称	概 要	期間
物流業実践 校内物流改善の進め方	長年工場で生産工程の改善は絶え間なく続けてこられたと思います。もうやり尽くし、ネタも出てこないという感があるませんか？でも物流のやり方を変えることでまだまだ改善のネタが見つかる工場は山ほどあります。 ここで構内物流のあり方を少し見直してみましょう。きっと工場全体の効率化につながるきっかけとなることでしょう。 この研修では「工場全体効率化」を図るために構内物流は何をすべきかについて話させていただきます。演習を織り交ぜながら、一緒に考え、一緒に論議することで構内物流の役割を体で覚えて帰って下さい。	1 日
物流業実践 輸送改善の進め方	会社で発生している物流コストの約6割が輸送コストです。このコストをうまくコントロールすることは会社の利益にも影響を与えます。そこで私たちは輸送コストをどう最適化していくかということに最優先で取り組む必要があります。 一方でトラックドライバーの高齢化に伴う輸送力不足が顕在しつつあります。皆さんの会社の荷が10年後も確実に運べる体制を築いておくことを忘れてはなりません。また、運賃の値上げや荷主に対する国の施策強化など輸送環境は難しさを増しています。輸送コストと輸送能力、そして荷主としての改善点。この3つのマネジメントをするには輸送のしくみや業界背景、国の施策を知る必要があります。 この講座では輸送を取り巻く環境を理解し、輸送事業者の選定から輸送価格の決め方、輸送改善方策の立案と実行まで、一貫した業務がきる人材を育成します。演習を通して自ら考えることでしっかり理解できる研修です。	1 日
商品企画プロセス研修	『商品企画プロセス』とは何かを概要レベルで理解いたします。 商品企画プロセスフローを理解し、その実施手順を身に着け、商品企画プロセスで使用する分析手法や分析ツールを理解し実践で役立てることを目指しています。	1 日
商品開発マネジメント研修	商品開発におけるマネジメント手法を理解いたします。 本研修の目標は下記①～③です。 ①「商品開発マネジメント」のコンセプトを理解する ②商品開発マネジメントの実プロセスを理解し、その実施手順を身に着ける ③商品開発マネジメントプロセスで使用する分析手法やツール類を理解する	1 日